



令和7年度
兵庫県就学前教育・保育研修大会
(旧兵庫県内認定こども園関係団体協議会研究会)

日 時 : 令和7年9月6日(土) 13:00~17:05 (受付開始12:30~)

会 場 : 神戸ポートピアホテル南館1階「大輪田」

タイムテーブル

時 間	内 容	項目・科目番号・時間数
12:30~13:00	受 付	
13:00~13:20	開 会	
13:20~14:50	基調講演 テーマ: 「これから求められる子どもの育ちと保育」 講師: 保育SoW(Sense of wonder)ラボ 代表 井桁 容子氏	【3.連 携】 3-4 (1.5H)
14:50~15:00	休 憩	
15:00~17:00	幼保情報交換会・園長及び教職員参加者全員によるワークショップ コーディネーター: 神戸大学大学院 教授 北野 幸子氏	【1.原 論】 1-1,1-2 (1H×2)
17:00~17:05	閉 会	

◆留意事項◆

- 講義等の録音・録画・撮影、および研修資料の複写・転載等は固く禁止します。
- 15分以上の遅刻や早退、途中退席をされた場合は未受講となります。
- 空調設備の微調整が難しいため、着脱して体温調整が可能な服装でお越しください。
- 会場にはゴミ箱の設置がありません。ゴミは各自お持ち帰りいただきますようお願いします。
- 感染予防については、各自の判断でお願いします。
- 併せて「令和7年度兵庫県認定こども園園長等研修受講案内」をご確認ください。

◆修了証交付申請について◆

- 受講者に対しては全日程終了後、受講済の科目や時間を明示した「受講証明書」を交付します。
この時に修了証交付申請についての資料を同封します。

- 18科目30時間の受講完了後、申請期日までに必要書類を兵庫県保育協会へ提出する
(複数年度合算可)。期日を過ぎると受付できません。来年度に申請してください。

申請期日: 令和8年1月15日を予定しています。

必要書類: ①修了証交付申請書 ②受講証明書[原本](18科目・30時間分が揃っていること)

※①修了証交付申請書は、兵庫県ホームページ内【認定こども園について】のページ内下記URLより
ダウンロードしてください。

4. 認定こども園園長等研修等について

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf11/hw10_000000037.html

- 修了証の交付が不要の場合は、申請の必要はありません。

講師紹介

令和7年9月6日(土)

1 講義目	これから求められる子どもの育ちと保育	保育SoW(Sense of Wonder)ラボ 代表 井桁 容子氏
1976年4月から2018年3月まで保育実践研究施設の東京家政大学ナースリールームに42年間勤務し、東京家政大学非常勤講師も務め、保育の実践及び保育者養成に関わりながら研究に従事。 2018年4月よりフリーとなり乳幼児教育実践研究家として、任意団体「保育SoW(Sense of wonder)ラボ」代表・「非営利団体コドモノミカタ」代表理事、「保育の根っこを考える会」主宰などを務める。 2024年5月より日本保育学会評議員。 保育実践の場から抽出した子どもの本質、質の高い保育の在り方について数多くの実践研究や講演、保育・子育て関係著書多数を執筆。また保育コンサルティング、ワークショップ、メディアにおいては、NHKEテレ「すくすく子育て」、子ども向け番組の監修、そのほか保育DVD制作、子どもと大人向け音楽CDプロデュースするなど、日本の子どもが置かれる環境の質の底上げのために幅広く活動中。 2020年11月に育児雑誌編集長が選ぶ『第13回ペアレンティングアワード』の文化人部門を受賞 <単著> 「ていねいなまなざしでおもしろい！不思議！すごい！がみえる乳幼児保育」2024年10月 「伸びやかな育ちを支える～0 1 2 歳児保育の現場から～」NP0ブックスタート2024年 「子ども主体で考えるかみつき・ひっかき」学研教育みらい 2022年 6 月 「未来をひらく家庭支援・保護者との関わり」メイト 2021年12月 他多数 <監修> 「トイレ上手な子どもになれる本」辰巳出版 2015年2月 他多数 <連載> 全国私立保育園連盟 「保育通信」―子どもと親の今―連載中 フレーベル館 「保育ナビ」連載中 学研「012歳の保育」連載中 他、w e b 上の子育て関係の連載あり		
2 講義目	幼保情報交換会・園長及び教職員参加者全員によるワークショップ	神戸大学大学院 教授 北野 幸子氏
神戸大学教育学部卒業、広島大学教育学研究科博士課程修了、広島国際大学、福岡教育大学教育学部准教授を経て現職。日本保育学会理事、日本乳幼児教育学会理事を歴任。 2024年から環太平洋乳幼児教育学会 (Pacific Early Childhood Education Research Association)会長を務める。 PECERAは、アジア諸国を中心に環太平洋地域における幼児教育研究を発展・サポートしあう学会として2000年に設立。年に一度、各国がホストとなり研究大会を開催。主に、オーストラリア、中国、香港、日本、韓国、ニュージーランド、シンガポール、台湾、アメリカ合衆国、などの諸国から幼児教育研究者が参加し、毎年各国の研究課題について熱い議論や討議を行っている。 主な著書 『認定こども園の時代』（ひかりのくに） 『地域発・実践現場から考えるこれからの保育 ―質の維持・向上を目指して』（わかば社） 『子どもと保育者でつくる育ちの記録―あそびの中の育ちを可視化する』（日本標準） 『Revisiting Paulo Freire's Pedagogy of the Oppressed.Issues and Challenges in Early Childhood Education』（Routledge） など多数。		